

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-14号)

平成30年9月12日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年9月10日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

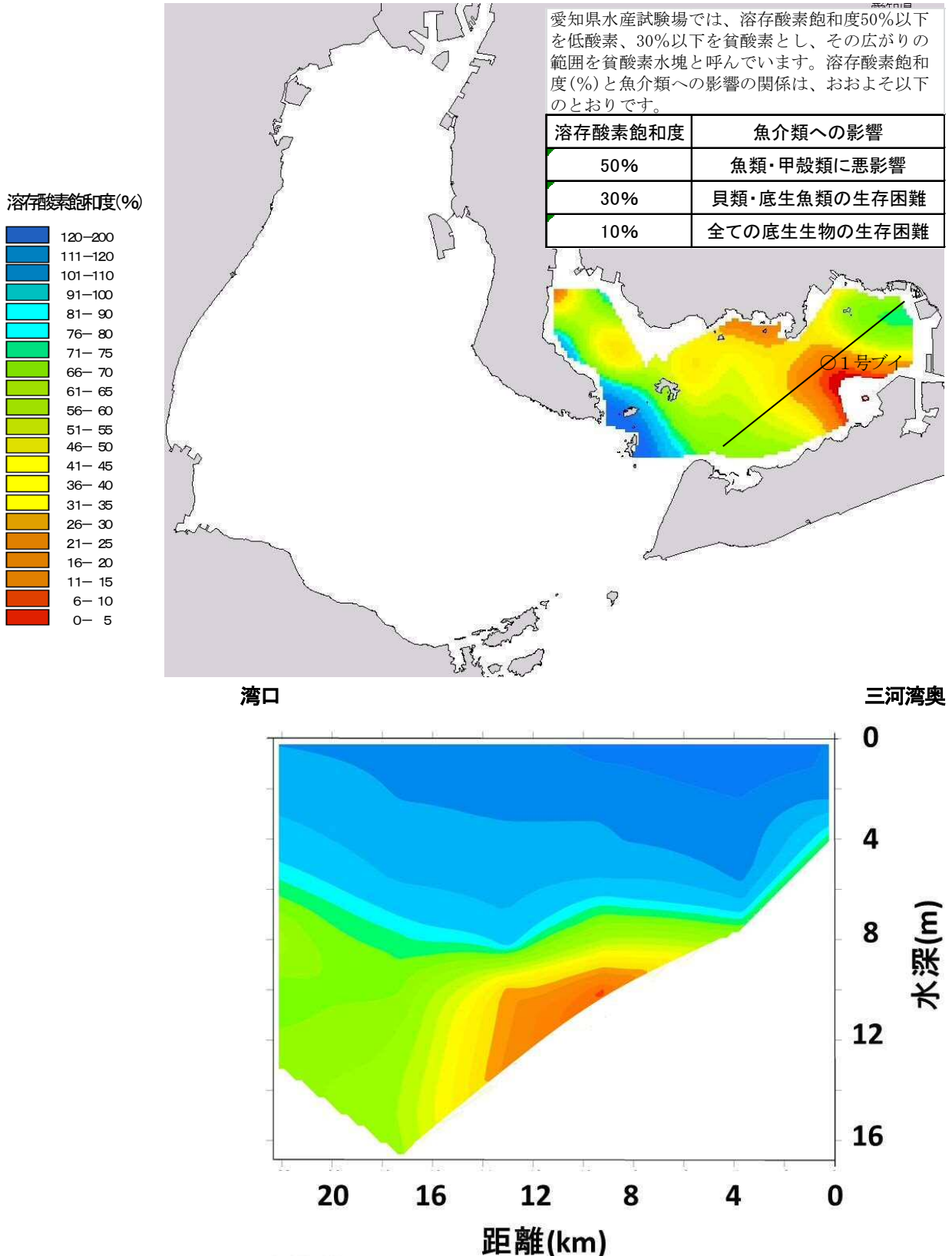


図1 三河湾 (9月10日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

9月10日の調査結果を図1に示しました。前回調査（9月3日）で渥美湾、知多湾ともに確認された貧酸素水塊は今回縮小していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイのデータをみると、前回の情報のとおり5日に解消が確認された貧酸素水塊が、8日から底層で徐々に発達している様子が観測されました（図2）。

水温は表底層間で均一になりましたが、今後降雨の影響を受け、塩分は表底層間の差が生じて成層が発達することから、貧酸素水塊は小規模に発達するものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.4~27.6	10.4~29.4
底層	25.1~27.5	27.2~32.4

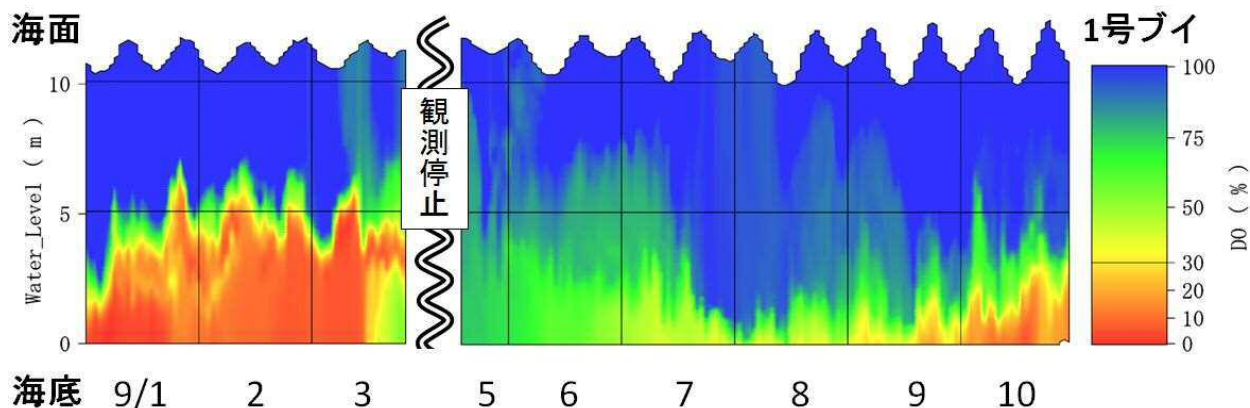


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

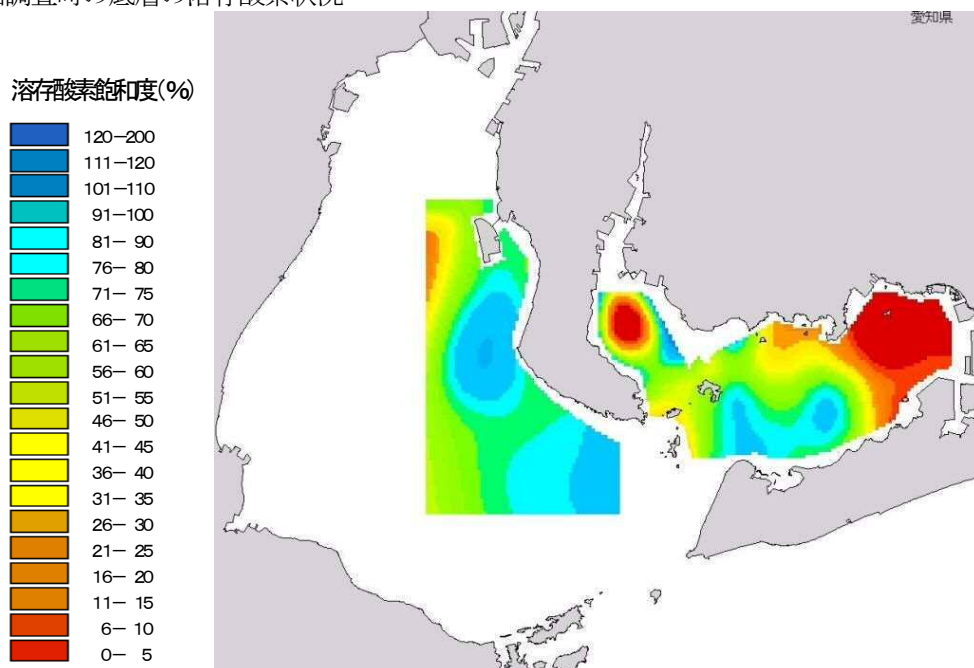


図3 平成30年9月6日（伊勢湾）、9月3日（三河湾）